

議事要旨

今回の委員会で施設の耐震性のフォローアップ及び今後の空港の耐震化の方向性について審議され、概ね了解が得られた。なお、委員からの主な質問・意見は以下のとおり。

- 建築施設については、長周期地震動に対する検討がなされているが、航空燃料を貯蔵するタンク等についても、長周期地震動に対する安全を確認すべきである。
- 「航空ネットワークの維持」と「背後圏経済活動の継続性確保」の2つの視点から、航空ネットワーク上重要な空港を選定しているが、「背後圏経済活動の継続性確保」という観点では、新たな国土形成計画における地域割にも配慮すべきである。
- 建物のみならず、内部の機器や設備の耐震性についても目を向けるべきである
- 臨海部の空港は、津浪による被害の可能性があるため、そういう観点での確認も行うべきである。
- 空港運用のリスクマネジメントは重要であり、耐震性だけでなく、ソフト面の現状を確認することも必要である。
- 航空機の運航には管制の指示が不可欠であり、関連する施設の耐震化は重要である。